

イノテック株式会社 個人投資家向け会社説明会

代表取締役専務

棚橋 祥紀

会社概要(2021年3月31日現在)



設立

1987年1月5日

資本金

105億17百万円

従業員

1,539名(連結) 202名(単体)

グループ企業

三栄ハイテックス
ガイオ・テクノロジー
アイティアアクセス
レグラス
モーデック
STAr Technologies
INNOTECH FRONTIER

株式の状況

証券コード 9880

発行済株式総数 13,700,000株

単元株式数 100株

上場証券取引所 東証1部

決算日 3月31日

1. 事業概要

事業変遷

事業戦略の変遷

1987 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2017 2021

欧米の最先端製品の輸入販売による
売上規模の拡大

お客様のニーズへの対応力を高めるため
自社製品の開発・販売

商社ビジネス

1987 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2017 2021

半導体製造装置

1987-2000

EDA

1987~

電子部品

1990-2017

HDD

1993-2017

自社製品ビジネス

1987 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2017 2021

テストシステム

2003~

組込みシステム

2005~

画像処理

2012~

検証ツール

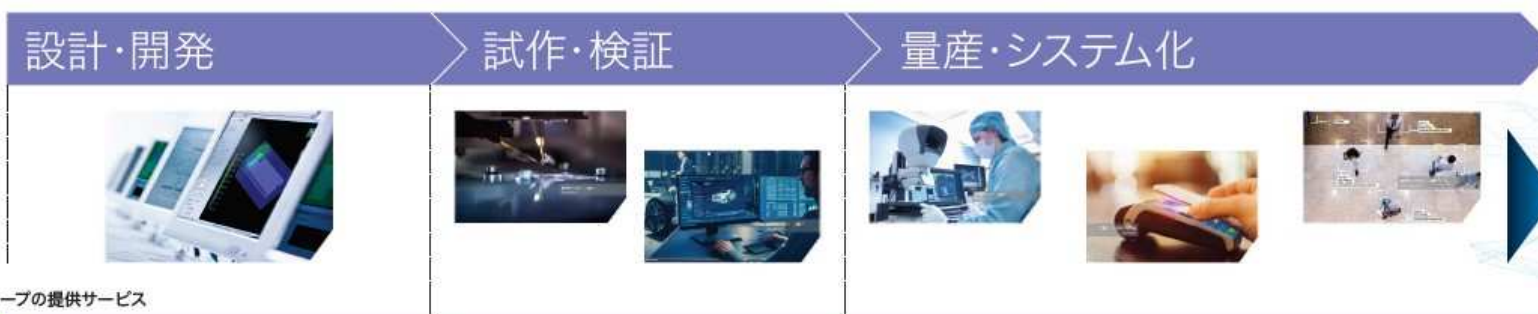
2014~

MBD/ノイズ解析

2015~

事業内容：イノテックのビジネスとは

イノテックは、半導体、自動車、産業機器などの製造プロセスに**ハードウェア**、**ソフトウェア**、**コンサルティングサービス**を提供する**トータルソリューション・カンパニー**



イノテックグループの提供サービス

半導体 関連	EDAソフトウェア ICソリューション本部 	信頼性評価装置・プローブカード STAR Technologies 		
	LSI設計・受託開発 三栄ハイテックス 	テストシステム テストソリューション本部 		
	シミュレーションモデル開発 モーデック 			
システム・ サービス	モデルベース開発支援・ノイズ解析 設計解析ソリューション統括部 	組み込みソフトウェア検証ツール ガイオ・テクノロジー 	エッジコンピューター インテリジェントシステム ソリューション本部 	クラウド決済システム・ソフトウェア全般 アイティアアクセス 
			AIカメラシステム・画像処理・受託開発 レグラス 	メディアワークフロー向け品質検証・分析・ストレージ コネクテッドビジネス開発部 

「相乗効果の創出」と「ビジネス拡大」を目的に
3つのセグメントに再編



テストソリューション
事業

半導体設計関連
事業

システム・サービス
事業

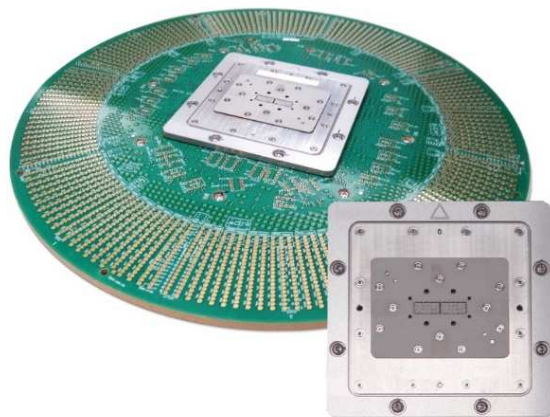
テストシステム



NAND向けテストシステム

- 自社製のNAND型フラッシュメモリー(以下、「NAND」)向け、CMOSイメージセンサー(以下、「CIS」)向け、MEMSセンサー向けのテストシステムを提供
- お客様独自のテスト要求に応じて最適なテストシステムを提供
- 国内の他、合併会社を通じて中国市場へ展開

信頼性評価装置/ プローブカード



プローブカード

- STARは台湾に本社を置き、アメリカ、シンガポール、韓国、中国、インドに子会社を有するグローバルカンパニー
- 製品ラインナップも充実しており、大手ファウンドリーメーカーを顧客に持つ



EDAソフトウェア

EDA(半導体設計)ソフトウェア、他

- 創業当時から続くイノテックの主力事業
- 大手EDAメーカーCadence社の国内代理店
- エンジニアを含め70名強の営業体制、国内屈指の規模
- 大手から中小規模企業まで、約1,000社を担当

LSI設計・受託開発/ シミュレーションモデル開発

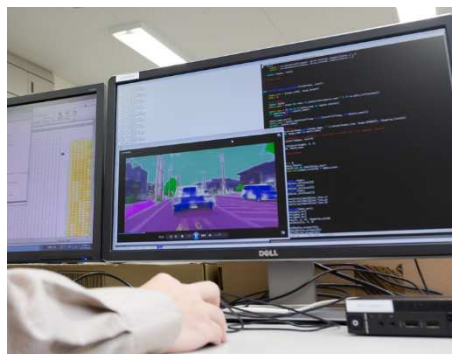


【三栄ハイテックス】

- アナログ・デジタルともに回路設計からレイアウト、検証までLSI設計の全工程に対応
- 海外子会社で行っているアノテーション事業が業績に大きく貢献

【モーデック】

- 世界でも有数のデバイスモデリング技術を有する



AIにおけるアノテーションサービス



EMBOX



組み込みシステム、他

- 自社開発の産業用CPUボードなどを提供
- 設計を自社内で、製造を国内で行うことで、高い水準の品質管理を実現
- ETCや駅の券売機などの交通分野から、CT装置などの医療分野、ネットワーク監視装置まで様々なところで採用

検証ツール／検証サービス



- 業界標準の車載向け組み込みソフト検証ツール
- エンジン制御を中心としたパワートレイン系で採用
- 2014年の買収以降、連結業績に大きく貢献

エンジン制御を中心とした
パワートレイン系に適用

インパネ制御
・メーター／ステアリング...

カー・マルチメディア
・カーナビ／ETC／オーディオ

エンジン制御
・ガソリン／ディーゼル／
HV／EV／FC
・トランスミッション

ボディー制御
・エアコン／エアバッグ／
セキュリティ

安全制御
・パワー・ステアリング／電子ブレーキ／トラクション制御
・衝突防止／自動走行



クラウド決済システム



クラウド決済システム/ ソフトウェア全般

IT Access®

- ユーザーインターフェースやネットワークに関わる組込みソフトの開発・販売
- 新規事業でクラウド型決済システムを開発
- 交通系、流通系などの電子マネーやQRコードに対応
- サブスクリプション収入により安定的な収益構造に

AIカメラシステムシステム



AIカメラシステム・ 画像処理・受託開発

株式会社レグラス

- 画像処理システムの仕様設計から試作、検証、量産まで一貫したサポートを提供
- 受託開発で培ってきたノウハウを活かして、自社製AIカメラシステムを開発
- 自社製AIカメラシステムは建機向け、ロボット向けで採用

2. 前期実績及び、業績見通し

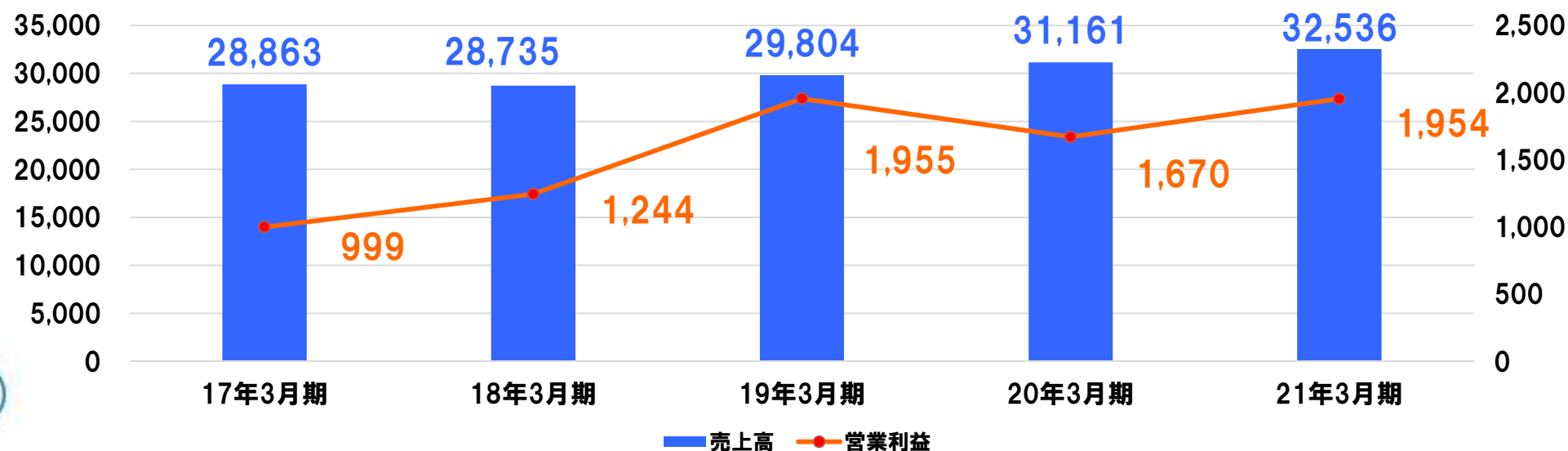
21年3月期 実績

(単位:百万円)

2021年3月期 実績(連結)	
売上高	32,536 (前期比 4.4%増)
営業利益	1,954 (同 17.0%増)
経常利益	2,460 (同 29.8%増)
当期純利益	1,534 (同 31.3%増)

過去5年の業績推移

(単位:百万円)



21年3月期 セグメント別実績

2021年3月期 セグメント別実績	
テストソリューション事業	10,641
半導体設計関連事業	11,416
システム・サービス事業	10,479

(単位:百万円)

決算のポイント

テストソリューション事業

- ・メモリー需要の回復により顧客の設備投資が引き続き堅調で大幅増収
- ・STARは、上期新型コロナによるサプライチェーンへの影響で業績が落ち込み、台湾や中国におけるビジネスが回復傾向にあるも前期比大幅減益

半導体設計関連事業

- ・EDAはハードウェアエミュレータービジネスを中心に大型案件受注により増収
- ・三栄ハイテックスは国内事業が低迷するも、海外アノテーション事業の高い利益率で増益を確保

システム・サービス事業

- ・アイティアアクセスは自販機向け決済システムを中心に増収増益
- ・組込みシステムやレグラスの各事業は新型コロナの影響で需要が減少
- ・ガイオは、自動車関連の需要減や製品開発への集中投資などにより減収減益

22年3月期 通期予想

(単位:百万円)

2022年3月期 通期予想		前期実績
売上高	34,000 (前期比 4.5%増)	32,536
営業利益	2,300 (同 17.7%増)	1,954
経常利益	2,400 (同 2.5%減)	2,460
当期純利益	1,500 (同 2.3%減)	1,534

セグメント別 通期予想

(単位:百万円)

セグメント別	通期予想	前期実績
テストソリューション事業	12,100	10,641
半導体設計関連事業	11,450	11,416
システム・サービス事業	10,450	10,479

3. 中期経営計画概要 (2019-2023)

主要な5つの戦略

- ①テストソリューション事業の成長
- ②自社製品売上の増加／メーカー機能の強化
- ③顧客ベースの拡大／海外市場開拓
- ④新規分野への積極的な取り組み
- ⑤資本効率の向上

利益目標

～利益成長に伴う企業価値の拡大～

• ROE: 8%超

テストソリューション事業の成長

●製品ラインナップの強化



NAND向けテストシステム



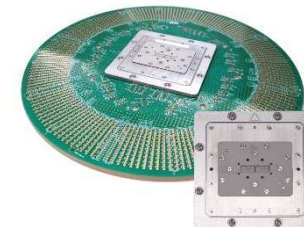
CIS向けテストシステム



MEMSセンサー向け
テストシステム



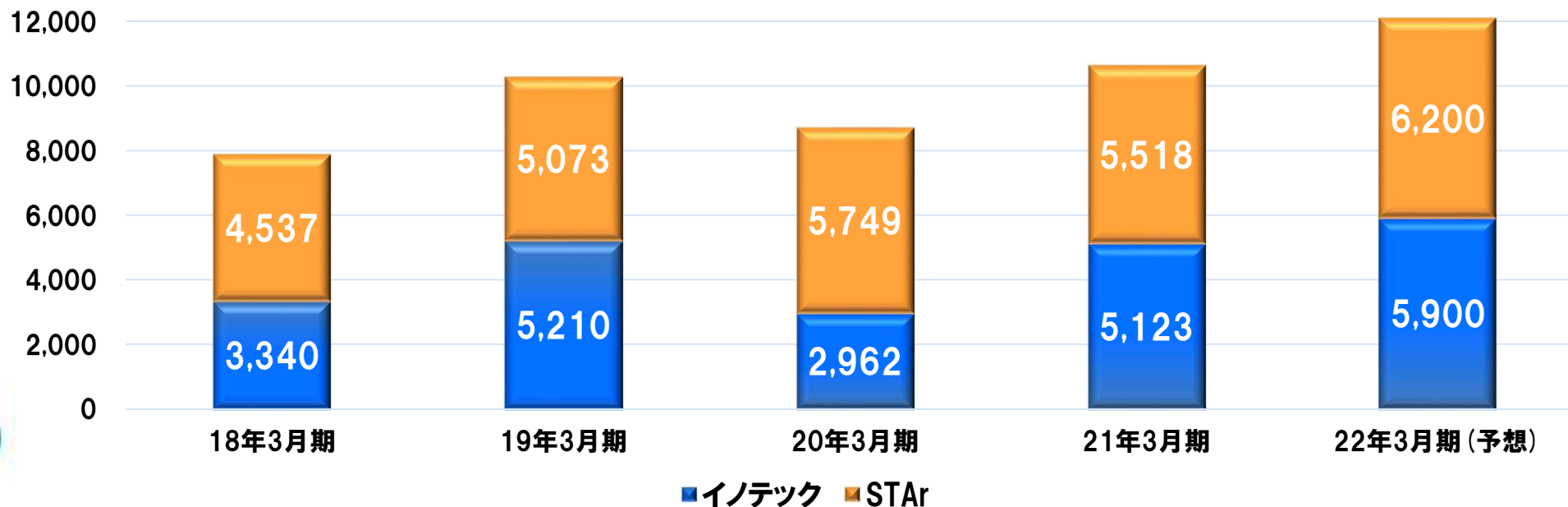
信頼性評価装置



プローブカード

●テストソリューション事業の売上推移

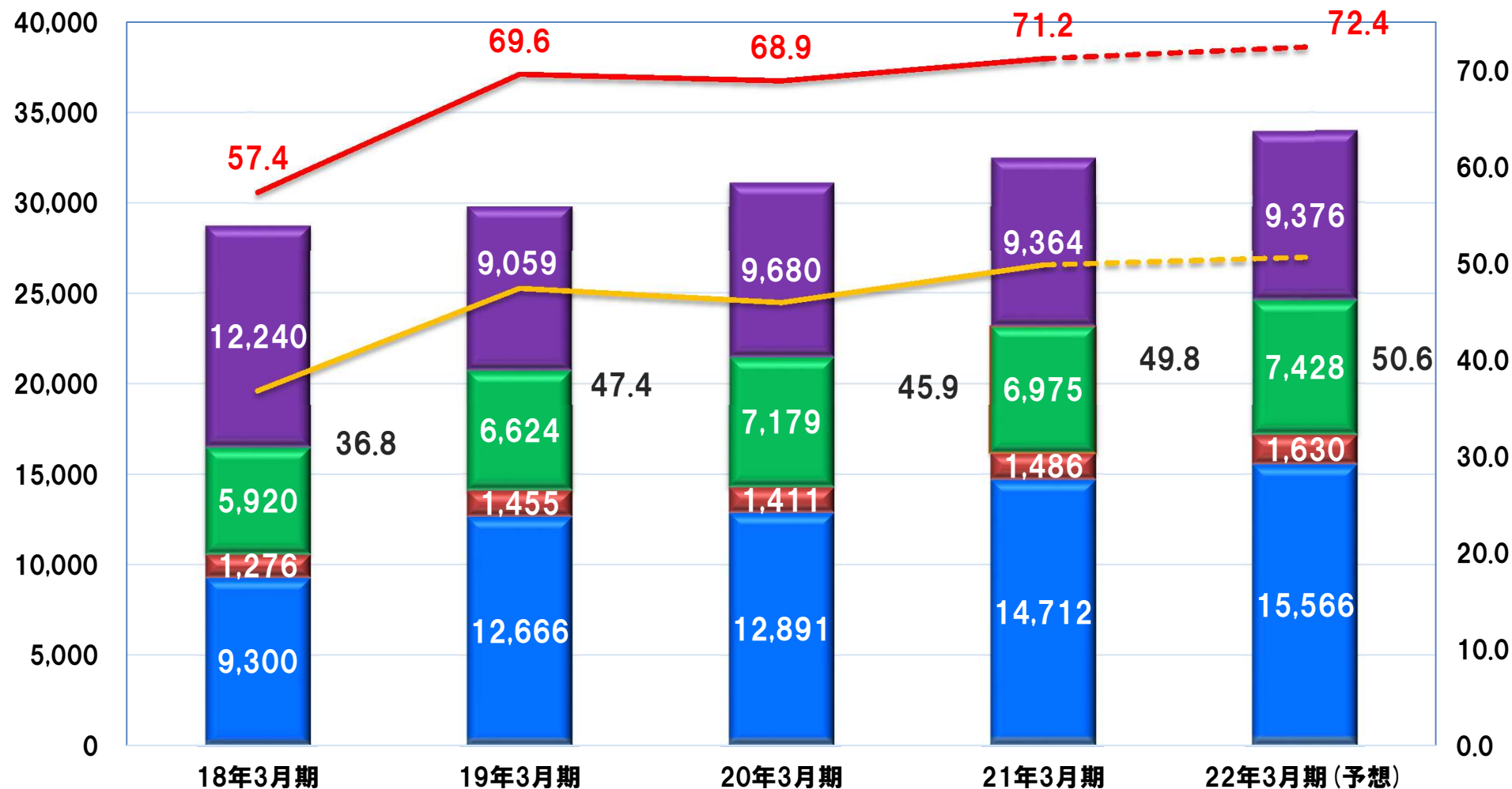
(単位:百万円)



自社製品比率推移

(売上高:百万円)

(%)



■ 自社HW
■ サービス
— 自社製品比率

■ 自社SW
■ 代理店
— 自社製品比率(サービス含む)

顧客ベースの拡大／海外市場開拓



Z-CSET

2018年11月 ブイ・テクノロジーとの業務提携、Z-CSETへ資本出資
2021年 3月 中国大手メモリーメーカーからテストシステム受注



取り組み例①

OSAROの産業用ロボット向けの
認識・制御AIを用いた自動化
ソリューションの提供開始



AI × ロボット

取り組み例②

GROOVE Xの家族型ロボット
『LOVOT™』にレグラス社製AIカメラ
システムを提供開始



2018年2月公表

「資本政策に関する基本方針」の2つの骨子

企業価値の増加

- ROE: **8%超**を目指す
- ROIC: ROIC-WACCスプレッドの拡大
(**8~10%**を目指す)

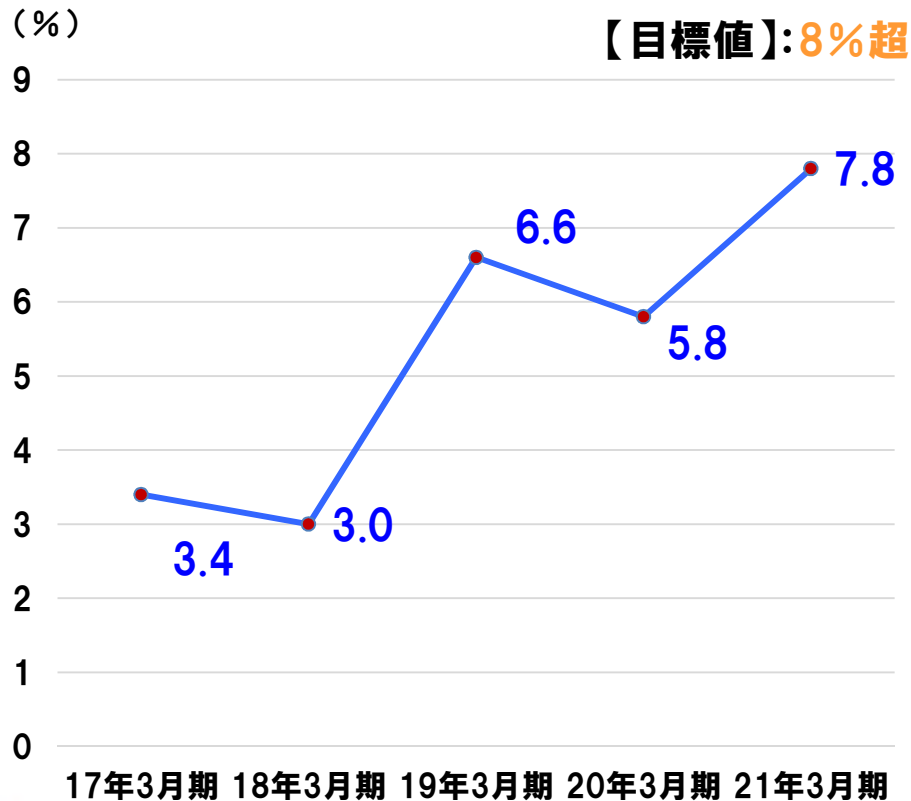
バランスシートの効率化

- D/Eレシオ
有利子負債による資金調達を行う場合には、
D/Eレシオの**目安0.5倍以下**
- 自己資本額
自己資本額の**目安 200億円程度**
- 配当性向、総還元性向
配当性向 **50%程度**(30%を下回らない)

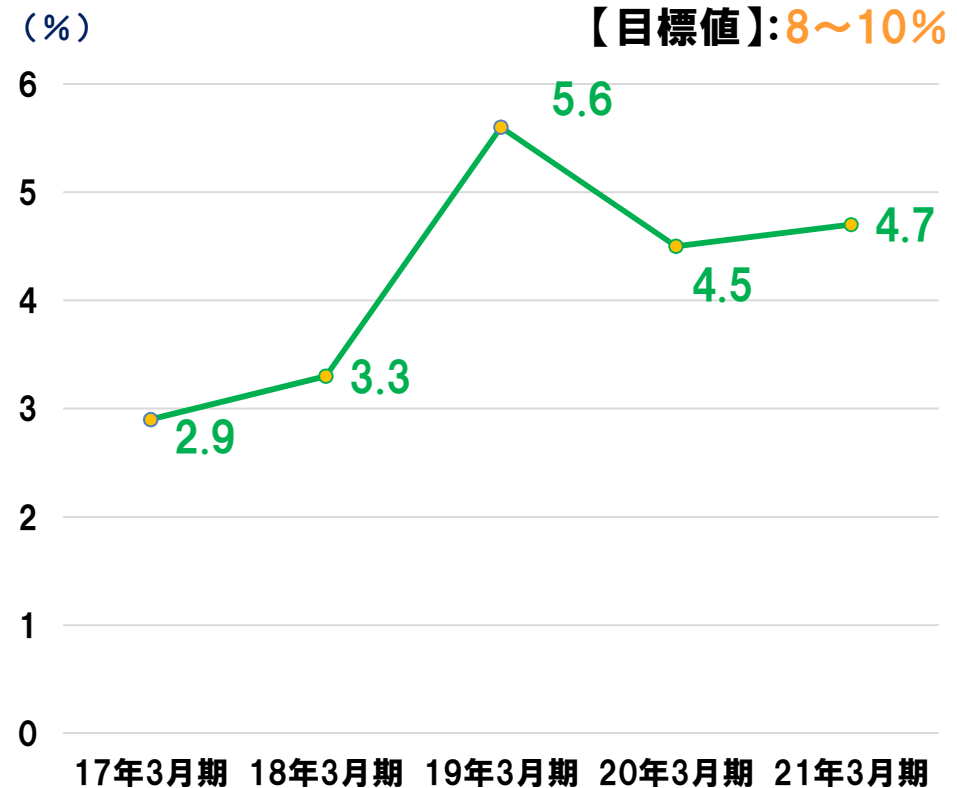
ROE/ROICの推移

ROE/ROICの向上＝利益を意識した事業活動することで、
グループ全体の価値向上を目指す

ROE（自己資本利益率）

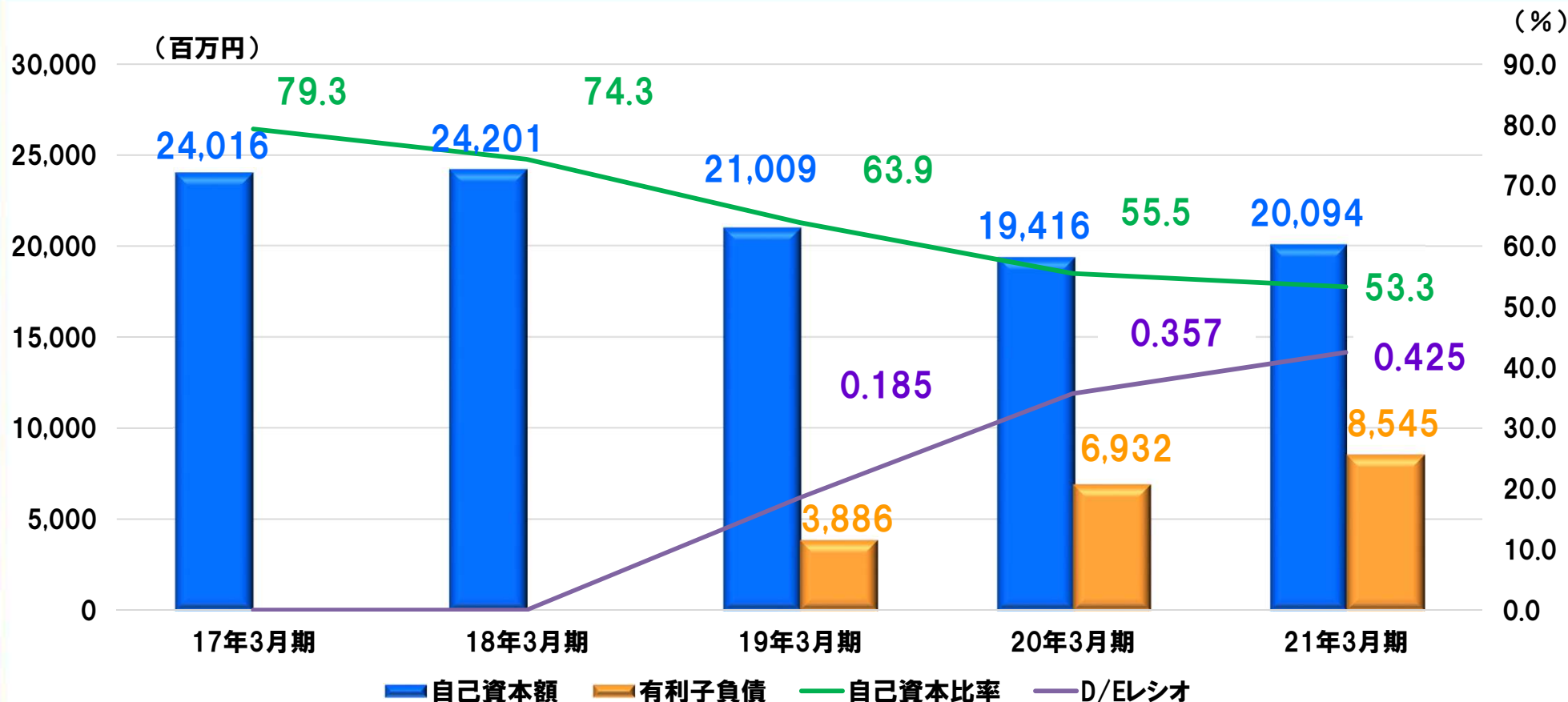


ROIC（投下資本利益率）



※投下資本＝株主資本＋有利子負債

自己資本額、自己資本比率、有利子負債、D/E レシオの推移



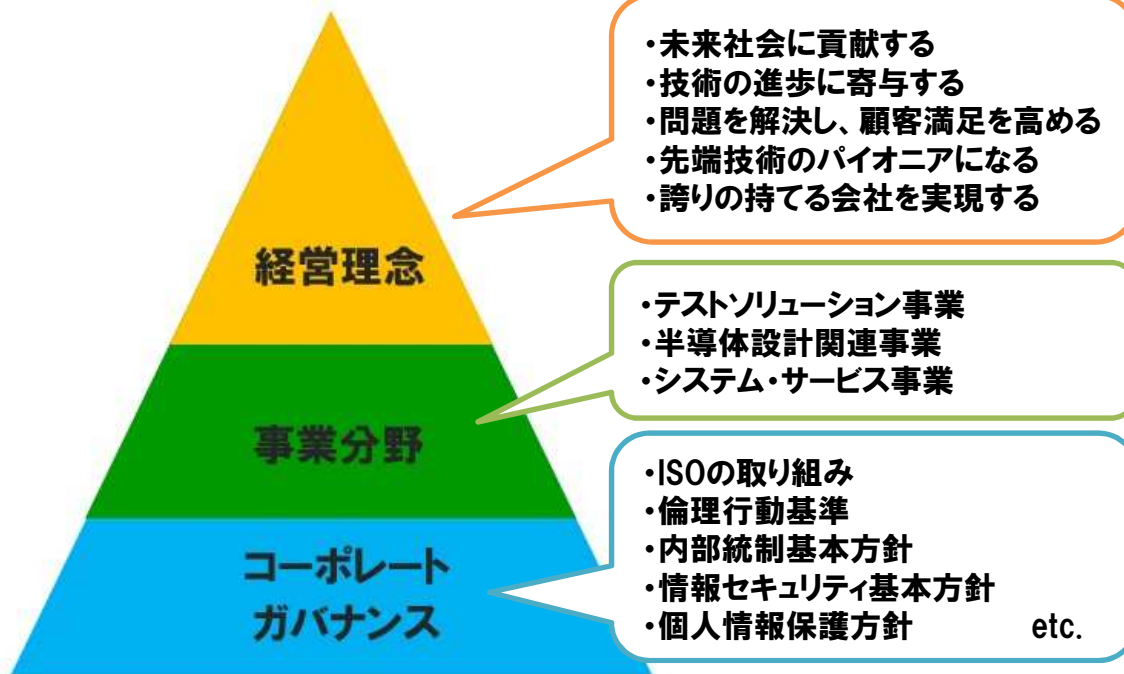
●自己資本は増配や自己株式取得など株主への積極的な利益還元により40億円減少、目安とする200億円程度の水準を保つ

●M&Aなどに伴う資本政策を機動的に遂行し、有利子負債は85億円に増加

ESG/SDGsに関する取り組み

- ESG/SDGsの推進体制を整備し、グループを取り巻く社会課題解決を目指す
- 7月下旬にESGサイトを開設予定、企業活動を通じたSDGs達成への取り組みを発信

イノテックグループの企業活動



【SDGsの活動例】
三栄ハイテックス、技術開発センターを活用し、「キッズ向けロボット教室」を開設（2021年4月）



技術開発センター

4. 株主還元

安定的な株主還元

連結配当性向は、「**30%を下回らない**」ことを基本とするが、急激な業績変化などが無い限りは、「**50%程度**」を目安とする

自己株式取得は、**キャッシュフロー動向、投資需要、株価水準**などを総合的に勘案して、株主還元策の一環として検討

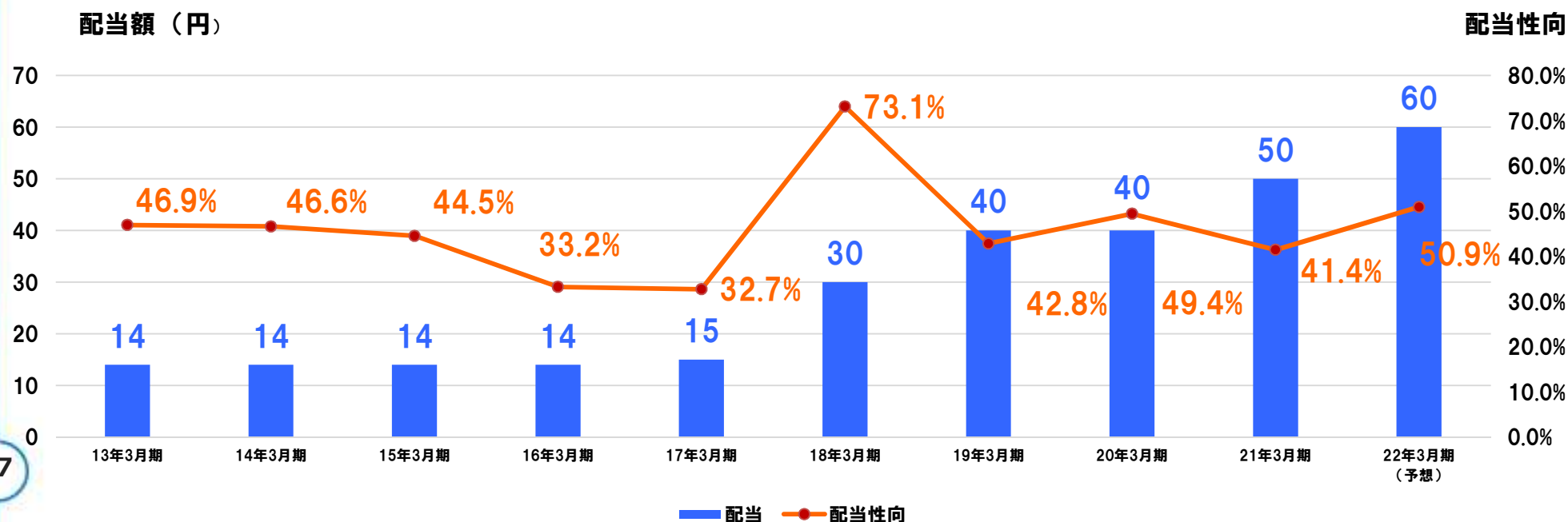
安定配当と機動的な自己株式取得により総還元性向を高め、**自己資本額の適正な規模**を保つ

株主還元～配当予想～

2022年3月期 配当予想

	中間	期末	通期	配当性向
2021年3月期	20円	30円	50円	41.4%
2022年3月期(予想)	30円	30円	60円	50.9%

年間配当額と配当性向の推移



将来の事象に関する記述についての注意

本プレゼンテーション資料が提供する情報には、当社の現時点における期待、見積および予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

イノテック株式会社 経営企画部

045-474-9030 itc-investorrelations@innotech.co.jp